



# 上向台小だより

6月号  
西東京市立上向台小学校  
令和6年6月3日

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>

## 一人一人の存在を大切に ～安全・安心な学校づくりに向けて～ 生活指導主任 金子 真理

先日、本校では、今年度の体カテストを実施しました。各種目で上級生が下級生の計測の手伝いをしてくれ、「いい記録が出せたね。おめでとう。」「あと少しで終わる時間だから、頑張る。」など、温かい言葉掛けがたくさん聞かれました。他の子の頑張りを自分のことのように喜んでいる姿が見られ、上向台小学校の学校目標である「人にやさしさ 自分につよさ 生き抜くかしこさ」が児童にしっかり身に付いていると感じました。

### 【安全・安心な学校づくりに向けて】

本校では、教職員が一丸となって児童が安全に、安心して通うことができ、保護者が安心して通わせることができる学校づくりを推進していますが、「安全・安心な学校」とは、どのような学校でしょうか。

私は、いじめなどの問題に真摯に対応して児童の人権を守ることでできる学校、そして、どの児童も、自分の居場所があり、互いの存在を尊重し合うことでできる学校であると考えています。

4月の保護者会でもお話しましたが、平成25年（2013年）に制定された「いじめ防止対策推進法」では、「いじめ」の定義が以下のように示されています。

#### 「いじめ」とは

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等、当該児童と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行なわれるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

法律の定義に基づけば、被害を受けた児童が「辛い」、「痛い」など心身の苦痛を感じていれば、いじめと判断されます。また、行為を受けた児童が苦痛を感じていない場合であっても、加害の行為が人権意識を欠く言動である場合などには、いじめと認知する必要があります。つまり、いじめは、どの子どもでも、どの学校でも起こり得るものなのです。

いじめは、いじめを受けた側や行った側ばかりでなく、周囲の子どもも含め、全ての子ども達の心身の健康や人格の形成に大きな影響を及ぼすものであり、絶対に許されることではありません。

本校では、「いじめ防止基本方針」を制定し、全教職員で、上向台小学校の児童にとって「安全・安心な学校づくり」に努めています。



←「上向台小学校 学校いじめ防止基本方針」です。クリックすると、御覧いただけます。

（紙面で御覧いただいている方は、二次元コードから御覧いただけます。）

### 【「上向台小学校いじめ防止基本方針」について】

#### ○未然防止のための取組

町探検や農園活動などの体験学習の充実や、フレンド班での異学年交流を通して、児童一人一人の自己有用感を高めます。「こんなことができるようになったな。」という様々な場面での成功体験を重ねるなかで、よりよい集団形成能力を育てていきます。

#### ○早期発見のための取組

本校では、毎年6月と11月、2月を「ふれあい月間」とし、子どもたちが安心して過ごしているか、学校生活や友達関係についてのアンケート調査を実施しています。そして、実施後には記述内容についての担任による学級全員の児童に対する聞き取り調査を追加実施しています。このことにより事実確認と状況把握を行い、いじめの早期発見に努めています。

また、道徳科の授業において、生命の大切さや個性の伸長について考えるとともに、6年生では副読本「みんなで学ぼう 西東京市子ども条例」を用いて、いじめについて考える学習を行います。

#### ○早期解決のための取組

いじめを受けていると思われる時には、速やかにスクールカウンセラーとの面談を実施したり、担任や学年教員で聞き取りを行ったりすることで、内容を確実に把握します。

そして、早急に「学校いじめ防止対策委員会」を招集し、対応を検討したり、関係機関との連携を図ったりします。

組織として、いじめの被害者を守るだけでなく、毅然とした態度で加害者への指導も心を込めて行い、いじめ解決に向け動きます。

最後に、3年生の国語科の教科書（光村図書）に載っている詩を紹介します。この詩のように、児童が互いの存在を尊重し合い、笑顔溢れる学校生活を送ってほしいと願っています。

わたしと小鳥とすずと

金子 みすゞ

わたしが両手をひろげても、  
お空はちっともとべないが、  
とべる小鳥はわたしのよう、  
地べたをはやくは走れない。  
わたしがからだをゆすっても、  
きれいな音はでないけど、  
あの鳴るすずはわたしのよう、  
たくさんうたは知らないよ。  
すずと、小鳥と、それからわたし、  
みんなちがって、みんないい。